

事業名：江別国際センター施設維持補助金

秘書課 秘書係

政策	06 市民協働によるまちづくり								
施策	03 国内・国際交流の推進								
基本事業	01 人材・団体の育成								
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市国際交流推進協議会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
江別市内の各国際交流団体等で構成された組織である「江別市国際交流推進協議会」に対し、同協議会が管理・運営している「江別国際センター」の施設維持管理経費を補助する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
国際交流施設が安定的に運営される。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標 1	江別市国際交流推進協議会の構成団体数	団体	22	23	22	24
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,978	3,807	3,285	3,277
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	9,785	8,996	9,251	9,800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,978	3,807	3,285	3,277
正職員人件費 (B)		千円	1,204	1,283	1,250	1,252
総事業費 (A + B)		千円	3,182	5,090	4,535	4,529

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	江別市内の各国際交流団体等で構成された組織である「江別市国際交流推進協議会」に対し、同協議会が管理・運営している「江別国際センター」の事業運営費の一部を補助する。 ・テナント賃借料 ・光熱水費 ・スタッフ人件費	江別国際センターへの補助金：3,285千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
平成24年7月に商業施設内に移転し、利便性の良さから利用者も増加傾向にあるところである。従来からの事業に加え、隣接する市民活動センターと連携した事業を模索するなど、新規利用者の増加に向けた取組みが進められている。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

妥当である	理由 根拠	国際交流推進協議会及びその構成団体が様々な活動を安定的に実施する上から必要なものであり、妥当と考える。特に、市民の国際交流・国際理解に係る事業や活動は市がリーダーシップを持って進めるよりも地域住民が中心となって広く浸透させていくことが効果的であるが、当協議会は多くの市民の努力により行政に代わって市民が主体的に活動する団体に成長した。しかし、活動の性格上大きな収益を得る事業の実施は難しく活動基盤が脆弱であることから、今後も協議会の果たす役割を支える上で、市の財政支援は不可欠と考える。
妥当性が低い		

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい	理由 根拠	市民の国際交流・国際理解を進める上で基本となる事業である。
貢献度ふつう		
貢献度小さい		
基礎的事務事業		

(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でない理由は何ですか？

上がっている	理由 根拠	協議会が管理・運営する国際センターは、市民や国際交流団体が事業や交流活動を行う上での拠点になっているとともに、事業活動を通じ、市民の国際交流や国際理解の推進、市内在住の外国人へのサポート等が図られている。24年度の移転を機にセンターの利便性向上したことから協議会加盟団体ではない一般市民のセンター訪問者数が増加傾向にある。
どちらかといえば上がっている		
上がらない		

(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大	理由 根拠	当事業によって国際交流推進協議会及びその構成団体の安定的な活動の場が確保できており、現状で適当と考える。
成果向上余地 中		
成果向上余地 小・なし		

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？

ある	理由 根拠	テナント賃借料や光熱水費については、固定的な経費であり大幅な削減は難しいが、センターの利便性の良さを活かした手法を導入するなどして、自主財源の確保に努める。
なし		